

## ○ ワークショップ「都市の OR」

開催責任者 数理情報学部 鈴木敦夫

2010年12月8、9日

南山大学名古屋キャンパス E棟 11番教室

ホテル名古屋ガーデンパレス



ワークショップは2日間にわたり、招待講演を含めて24件の発表で、以下のプログラムで開催された。

### ◇報告者および題目

招待講演者

Prof. Antonio Jose Pais Antunes, University of Coimbra (ポルトガル)

Prof. Tae Oum, Nanzan University, University of British Columbia (カナダ)

Prof. Xiaowen Fu, Hong Kong Polytechnic University (香港)

12月18日(土)

Opening Session -Masanori Fushimi (Nanzan University)-

Session 1 座長：鳥海重喜(中央大学)

列車あたり乗客数に注目した停車駅と列車本数の設定～千鳥停車運転の導入の検討～

三浦英俊(明海大学)

新幹線と航空の競合路線における変動価格制の収益効果について

佐藤公俊(南山大学)

空港評価のための新幹線と航空機の時空間ネットワーク

大野悟史(中央大学)

Session 2 座長：宮川雅至（山梨大学）

市町村合併後の公共施設の過不足に関する研究－集計誤差に関する理論的考察と実証分析－

松丸 仁（筑波大学）

火災データ分析に基づく人的損傷リスクと避難安全設計法への適用に関する考察

野竹宏彰（清水建設）

筑波大学の高大連携活動

梅村佳子（筑波大学）

Session 3 Chair：Takamori Ukai（Nanzan University）

Strategic Risk Averse Defense Planning of Median Systems in a Time-Based Framework

Chaya Losada（Nanzan University）

An Improvement of the Solution Algorithm for the Equal Sized Network Partitioning Problem

Atsuo Suzuki（Nanzan University）

Optimization of Spatial Distribution of Evacuation Sites and Emergency Facilities due to Earthquake Risk in the City of Istanbul

Senol Meltem（The Tokyo University）

Including Competition in Designing Airline Hub Networks

Mihiro Sasaki（Nanzan University）

Session 4

Optimization model for Urban Hierarchy Planning

Antonio Antunes（University of Coimbra）

Performance of Asian Airports vis-à-vis European and N. American Airports :Extracted from the 2010 ATRS Global Airport Benchmarking Project Report

Tae-Hoon Oum（Nanzan University）

Vertical Cooperation between Risk Averse Airlines and Airports－the case of revenue sharing－

Xiaowen Fu（Hong Kong Polytechnic University）

12月19日（日）

Session 5 座長：本間裕大（早稲田大学）

交通施設モデルを前提とした連続侵入盗の居所と犯行対象の関係に係る地理的分析

檜林哲也（東京大学）

直線距離を用いた犯罪分析の再検討

菅田寛（社会安全研究財団）

東京大都市圏における社会排除の観点での食料品アクセシビリティの測定

崔唯爛（筑波大学）

リスク最小化に着目したネットワークフローモデルと安全下校問題への応用

田中健一（電気通信大学）

## Session 6 座長：稲川敬介（秋田県立大学）

大学時間割の自動作成について

光部翔太（南山大学）

放射・環状ネットワークにおけるリンク遮断時の断面交通量の時間的变化

広戸晶（慶應義塾大学）

山アテ道路の数理分析

森賢司（筑波大学）

## Session 7 座長：小林隆史（北海道大学）

産業連関表とNetwork DEA による都道府県の効率分析

天達洋文（成蹊大学）

2階建てオープンバスから見た都市景観の分析

飯田マリ（筑波大学）

商品の最適価格決定問題について

野々垣壇（南山大学）

なぜ沿道商業施設は大型化するのか—放射環状都市におけるガソリンスタンドでの油外製品販売の可能性—

大山皓史（筑波大学）

## Closing Session - Takeshi Koshizuka (Nanzan University)

### ◇ワークショップの討論内容

ワークショップでは3件の特別講演、7つのセッションが設けられた。

セッション1 交通に関するセッションで、特に航空路と鉄道について3件の発表があった。それらについて、モデルの妥当性、有効性、実用性について討論を行った。

セッション2 公共施設や災害時の安全に関するセッションである。3件の発表があり、討論を行った。

セッション3（英語による発表）施設の最適配置問題のセッションである。これらの発表は英語での報告であり、モデルの妥当性を中心に議論を行った。

セッション4（招待講演3件）招待講演者3名の講演である。施設の配置問題、空港、航空会社についてのセッションである。発表は英語で行われた。

セッション5 配置問題の応用のセッションである。犯罪分析、社会的な安全性について発表があり、モデルの解法、実用性について議論を行った。

セッション6 数理モデルの応用のセッションである。断面交通量、山アテ道路などについての発表があり、モデルの妥当性、結果の有用性について議論を行った。

セッション7 同じく数理モデルの応用のセッションである。産業連関表、景観、価格決定、配置問題について発表があり、モデルの妥当性を主に議論を行った。

### ◇研究成果発表

例年通り、論文誌への投稿は各自行うこととした。発表のアブストラクト集を作成し、参加者に配布した。